

令和 7 年度 創薬サイエンス部門研究支援
坂口大起 （大学院医学系研究科）

【研究課題名】

潰瘍性大腸炎の粘膜修復および発癌抑制に資する上皮幹細胞分化制御薬の開発

【研究概要】

我々は潰瘍性大腸炎（UC）患者の大腸上皮の遺伝子発現プロファイルを 1 細胞レベルで解析し、

上皮幹細胞の分裂様式の異常が、組織修復を担う分化細胞への転換を妨げていることを見出しました。

この機序は粘膜修復障害と炎症性発癌の双方に関与しており、患者由来オルガノイドおよびマウスモデルを用いた検討で、

この分裂様式を制御する薬剤により分化が回復し、腸炎の重症度と発癌がいずれも抑制されることを確認しました。

UC に対する新たな粘膜修復促進治療の開発につながる成果です。